

「知の集積」は始まっている

慶應義塾大学とまちづくりについて議論

7月22～24日、慶應義塾大学の皆さんが菊陽町を訪問しました。

本町が取り組むまちづくりをテーマに学生が研究を行い、町の知名度向上を目的とした特産品の活用や半導体とAIを掛け合わせたPRキャラクター、また学生が主体的に運営する研究者との交流イベントの推進など菊陽町が目指す日本一のまちづくりを具体化する新たな視点での提案がありました。



慶應義塾大学ふじすえの藤末特任教授(右)と学生、
吉本町長(中央右)、小牧副町長(中央左)

英語の世界へダイブ！

イングリッシュ・デイキャンプを実施

7月22日に菊陽中学校、23日に武蔵ヶ丘中学校で町内の小学5・6年生を対象にイングリッシュ・デイキャンプを開催し、合わせて61人が参加しました。

10人以上のALTと一緒に英語のみで会話をを行い、道案内の方法や外国の食べ物、生き物をテーマにさまざまなアクティビティを行いました。参加児童は「楽しかった。来年もまた参加したい！」と笑顔で話していました。



フィリピンのデザート「ハロハロ」の
トッピングを選ぶALTと児童

学校図書のプレゼント

町内小・中学校へ本を寄贈

8月3日、なかぞのあさこ(株)九州自然環境研究所代表取締役会長の
中園朝子さん(東ヶ丘)から、さはらそうしろう佐原総将著「靴を磨けば
心が晴れる」が町内小・中学校へ寄贈されました。

本書は、靴磨きを通じて自分自身や他者と丁寧に向き合うことの大切さを伝える1冊で、中園さんは「この本を通して、子どもたちに夢や希望をもって明るい未来を築いてほしい」と話しました。



なかぞのようこ
左から中園葉子さん、中園朝子さん、吉本町長

絵本と笑顔で心をつなぐ夏の日

ジュニアリーダー夏のボランティア活動

8月17～20日、ジュニアリーダーがさんさん保育園を訪れ、園児と絵本の読み聞かせや交流を行いました。英語に親しむ「イングリッシュタイム」や音楽に合わせ楽しむ「リトミック」にも参加し、笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました。参加したジュニアリーダーからは、「信頼関係やコミュニケーションの大切さを学んだ」という声が聞かれ、充実した4日間となりました。



園児に絵本の読み聞かせをするジュニアリーダー

熊本不二コンクリート工業(株)

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式を開催

8月26日、コンクリート二次製品の製造販売を行う熊本不二コンクリート工業(株)から寄付をいただき、感謝状の贈呈を行いました。

山田^{やまだ}タイラ常務取締役は「この寄付を通して少しでも地域の役に立てたらうれしい。これからも地域とともに成長していきたい」と話しました。

寄付金は、町の総合計画に掲げるさまざまな施策の推進に活用させていただきます。



山田常務取締役(右)と吉本町長(左)

音楽に合わせて園児たちが躍動

ヴォルターズとのふれあいイベントを開催

9月3日、白鈴こども園で、熊本ヴォルターズ公式チアリーダーズ「VG」とのふれあいイベントが開催されました。

園児たちはVGのメンバーからダンスを教わり、音楽に合わせてダンスをしました。また熊本ヴォルターズの公式マスコット「ぼるたん」とハイタッチをするなど、園児たちは楽しそうに体を動かしました。



音楽に合わせて全身で表現する園児

人権を尊重する社会づくりを目指す

人権のまち菊陽フェスタ&よかつれフェスタを開催

9月6日、町防災センターで、人権を尊重する社会づくりを目指す啓発イベント「人権のまち菊陽フェスタ」と男女共同参画社会の実現を目指す啓発イベント「よかつれフェスタ」を合同で開催しました。

第1部では、辻本^{つじもと}一英^{かずひで}さんが、部落差別によって埋もれかけた文化の歩みと、差別をなくし豊かな地域コ

ミュニティを築く思いやヒントについて講演し、実際に受け継いだ徳島県指定無形民俗文化財である、阿波^{あわ}木偶^{でこ}「三番叟^{さんばんそう}まわし」なども披露しました。

第2部では、榑^{さかき}育代^{いくよ}さんが、実際の熊本地震の経験に基づいた、避難所における細やかな配慮の重要性などについて講演しました。



「阿波木偶箱まわし」について語る辻本さん



「三番叟まわし」の実演



自身の経験を語る榑育代さん

さんばんそう
「三番叟まわし」
とは

江戸時代から四国(主に徳島県)で伝わる正月の伝統的な祝福芸(門付け芸)のこと。

蛇の目ブロック(株)

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式を開催

8月18日、コンクリート製品や外構工事を手掛ける蛇の目ブロック(株)から寄付をいただき、感謝状の贈呈を行いました。

原裕^{はらゆういち}一代表取締役は「創立100周年の節目に、何か地域に貢献できないかと考え寄付した。町の発展に役立ててほしい」と話しました。寄付金は、町の総合計画に掲げるさまざまな施策の推進に活用します。



原社長(右)と吉本町長(左)

地権者説明会を実施

原水駅周辺土地区画整理事業

8月24～25日、土地区画整理事業施行区域の地権者への説明会を行いました。

まちづくりと一体となった土地区画整理事業の考え方や土地利用計画、今後のスケジュールなどについて説明を行ったもので、約70人が参加しました。

現在、本年度中の事業認可取得に向けた手続きを進めており、今後も事業の進捗に応じた丁寧な説明に努めてまいります。



説明会の様子

効果的な土地利用の実現に向けて

第3回菊陽町立地適正化計画策定委員会を開催

令和7年3月に見直しを行った「菊陽町都市計画マスタープラン」に基づき、農業・工業・商業、そして住環境と自然環境がバランスの取れた効果的な土地利用の実現に向けた取り組みを進めています。この効果的な土地利用の実現には、将来の人口減少を見据えたコンパクトな都市づくりが必要不可欠であり、この取り組みを具体的に位置付けるため、現在、菊陽町立地適正化計画の策定を行っています。

そして、8月28日に第3回菊陽町立地適正化計画策定委員会を開催しました。

策定委員会では、7～8月に実施した住民説明会やパブリック・コメントで出された意見、それに対する町の考え方について事務局から説明し、その意見を踏まえて策定した「菊陽町立地適正化計画(案)」について審議されました。

第3回策定委員会後には、柿本^{かきもと}電治^{とりゆうじ}委員長から吉本町長へ本計画の提言書が手渡されました。

これまでの全3回にわたる策定委員会を経て作成した計画案をもとに、菊陽町立地適正化計画を策定します。



提言書を手渡した策定委員会柿本委員長(右)